

CiNii Research機関向けダッシュボード

岡山大学における活用事例と期待する機能

岡山大学 研究・イノベーション共創機構
URA 小林 健輔



IR

自己紹介

- 小林 健輔
 - 工学修士(高知工科大学)
 - 2024年から岡山大学 研究・イノベーション共創機構 URA
 - [researchmap](#)
 - [orcid](#)
- 岡山大学において，研究IRを担当
 - 学生時に非常勤職員の仕事で業務効率化を進める
 - データ分析を行うまでに必要となるデータ処理(python)や可視化を主に担当
- DX, AI推進の動きにも参画
 - オンプレGPUサーバーでローカルAIの立ち上げ
 - データ基盤としてのGitLab導入(devopsの実現へ向けて)

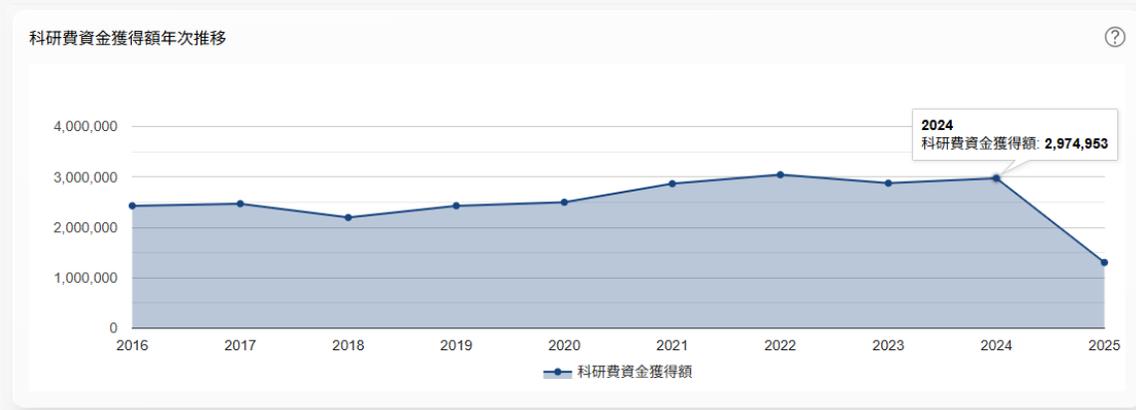


GitHub

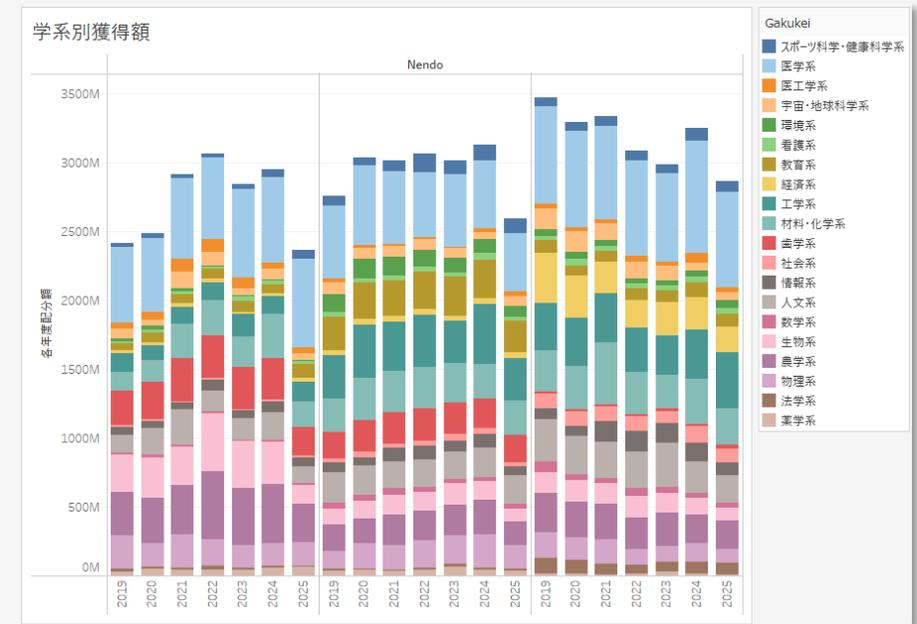


研究IR：データ処理後の答え合わせ

- 岡山大学ではKAKENデータベースのデータを元に、機関別のグラフを作成して分析に活用
 - > 色々な処理をした結果が概ね正しいことをどうやって確認するのか？
- ダッシュボードの値をリファレンスとして使用
 - > 獲得額増減の傾向が一致しているかどうか
(厳密には誤差あり)



CiNii Research ダッシュボード
科研費資金獲得額年次推移グラフより



分野別機関別科研費獲得額グラフ

出典：KAKEN：科学研究費助成事業データベース（国立情報学研究所）

（<https://kaken.nii.ac.jp/>）をもとに岡山大学作成

研究IR：エビデンスに基づく～ のためには

- ダッシュボード上のデータをどこまで信じるか
 - > 表示されている数値や処理を確認できるのか
 - エビデンスとして様々な相手に説明する際に、元データや処理方法が確認できなければ活用できない
 - データのダウンロードや、処理の解説+コードの公開が必要ではないだろうか
- 共通指標，基準として活用できるか
 - > 申請書や報告書に使用できる数値となるのか
 - データの確認で終わらず，エビデンスとして各種書類に記載できれば...
 - 機関ごとにややこしい処理を行うことなく，共通指標として活用できれば業務効率化となる(研究DX?)
 - 例えば，OA率のパーセンテージをOA加速化事業の書類に記載して問題はないのか
- 他機関の情報が見れてもよいのでは
 - > 他機関と比較できる機能はどの機関でも必要とされているのでは(相対評価の点)